

『足柄の文化』総目次(創刊号～51号)

〔この目録は、山北町生涯学習センター図書室に蔵架(開架)の『足柄の文化』各巻の目次を光学読み取りソフトを利用して作成したものである。本文との照合はしていない。明らかな誤植もそのまま収録し、同一筆者と思われる人名表記の違いについても正誤の確認は行っていない。書名タイトルや編者・発行者など書誌に関するデータは同図書室の「蔵書検索・予約」欄の表記に従った。◎はコピー済みの論文。

畠堀操八、2024年10月

『足柄の文化』(創刊号、山北町地方史研究会編・発行、昭和33年9月、昭和44年

8月再版)

「郷土史への愛情と学問」永田衡吉

「西丹沢山北町堂山遺跡と尾崎遺跡を訪うて」赤星直忠

「西丹沢の古文書(一)山崎家文書目録とその略解」石田昇

「川村山北差出帳—鈴木家文書」本多秀雄

「箱根の番所 矢倉沢御関所」柏木都美子

谷峨御関所」岡部志津子

「足柄地名探訪(一)矢無瀬・踊り場」中津川要一

・ 浜井場」酒匂三平

「民話 嫁田のはなし」湯山厚

「西丹沢の民謡 からうす唄・もちつき唄・ぼん唄」岩本としえ・他

「丹沢の民俗資料 大道祖神山・門入道」川口謙二

「明治の力士 武蔵湯伊之助」石川元次

◎「丹沢の溪谷」藪田義文

「おじいさんおばあさんに聞いた話」

石田忍・吉本タネ子・清水正己・杉本悦子・瀬戸直

「丹沢句集・山北十二勝記(一)」津田紫明・高橋隆

「神奈川県指定重要文化財民俗資料 世附百万遍念仏」山北町世附部落

「会報・会則・会員名簿・原稿募集」

題字 瀬戸万寿夫 表紙・裏表紙 斎藤正夫

『足柄の文化』(第2号、山北町地方史研究会編・発行、昭和34年8月)

「第二号の発刊に際して」山北町地方史研究会長 津田吉秋

「山村の問題」千葉徳爾

「考古資料 蒐集についての覚書」赤星直忠

「足柄に遊んだ福沢論吉翁 その足跡と草稿」印野耕一

「足柄地方における証文の種類〔一〕平山村古瀬家金融証文

一、借用証文 二、売渡証文 三、引替地証文」木川保雄

- ◎「共和牛乳のはなし」杉本好永・大野公麿
 - 「旧清水村の道祖神祠」瀬戸茂
 - 「幕末期に於ける英学の起りと私の家（其の一）」
 - 一、私の家の略歴譜 二、英学の起り 三、英文書の翻訳著述
 - 四、藤井三郎（質）の死 五、諸学者の研究発表について 六、後記」藤井己之吉
 - 「童唄を集めよう」小林梅次
 - 「信玄の丹沢金山をたすねて」藪田義文・加藤榮治
 - 「西丹沢再遊の記」寺口とく
- ◎「足柄名探訪〔二〕「寄」の呼び名について」橋本憲太郎
 - 「西丹沢の民謡〔二〕御料木運搬の歌」話者・藪田キヌ 記録・藪田義文
 - 「西丹沢古文書〔二〕武尾家文書目録と解説」石田昇
 - 「会員名簿」

『足柄の文化』（第3号、山北町地方史研究会編・発行、昭和35年1月）

- 「戦国時代における南関東の交通」中丸和伯
- 「村鑑差出などからみた上郡の近世社会経済の概要」本多秀雄
- 「南足柄町狩野の祭祀遺構について」坂詰秀一
- 「足柄の義民下田隼人」加藤誠夫
- ◎「〔西丹沢点描〕塔ヶ岳・蛭ヶ岳」山口富貴男
- ◎「山北町日向部落」武井■ ■ = 山へんに匂
- ◎「昔の地蔵堂」佐藤ハツ枝
 - 「中世足柄関史料」中丸和伯
 - 「西丹沢古文書〔二〕武尾家文書目録と解説（その二）」石田昇
- ◎「足柄上郡共和村民俗誌（二）」神奈川県立神奈川工業高校郷土研究部
 - 「堂山及烏山遺跡の発掘計画について」地方史研究会
 - 「山北町文化財出展目録」説明・瀬戸正二
 - 「〔昔の話〕篠窪部落（一）」小島巖
 - 「随想」津田紫明
 - 「山北の秋」相原珠泉
 - 「会員名簿」

『足柄の文化』（第4号、山北町地方史研究会編・発行、昭和35年11月、昭和58

年12月再版）

- 「発刊に当りて」
- 「富士噴火年表」
- 「富士宝永噴火に関する記録について」鈴木隆造
- 「宝永四年丁亥降砂ニ付小田原江（指上申候文言）」鈴木隆造
- 「宝永五年御救金石高と人別扶持二色ニ割符帖」鈴木隆造
- 「河村山北村宝永六年飢人御扶持表」鈴木隆造

「皆瀬川村の被害状況について」松川浩
「宝永五年皆瀬川村飢人書く上帳」井上良夫家文書 松川浩
「宝永六年皆瀬川村飢人御扶持米割渡し帖 井上良夫家文書」松川浩
「宝永七年乍恐以書付奉御訴訟候事（中山家六ヶ村）井上良夫家文書」松川浩
「宝永七年奥山家往還道御普請人足積り 井上良夫家文書」松川浩
「乍恐奉願上口上書之御事 井上良夫家文書」松川浩
「享保十六年乍恐以書付奉願上候」岩本正夫
「覚・申渡し之覚」岩本正夫
「南足柄中沼名主杉本田造日記」本多秀雄
「秦野地方の被害と煙草の耕作」石田一雄
「富士山の噴火について」石田一雄
「山北町地方史研究会役員名簿（昭和三十五年度）」

『足柄の文化』（第5号、山北町地方史研究会編・発行、昭和36年9月、昭和58年

12月再版）

「古代の足柄について（講演記録）」文学博士 直良信夫先生
「山北町西北部（山市場以北）に産する陸産貝類について」山北高等学校 関口秀一
「相州足柄郡入会山資料 武尾家文書」松川浩 本多秀雄写
「煙硝の話」話者・山崎為吉翁 記者・木川保雄
「篠窪昔話一三号の続き一」小島巖
「足柄の迷信」編集部
「鈴木家文書並絵図目録」鈴木隆造
「山北十二勝記（二）」高橋隆
「書画展目録」編集部
「俳句」

『足柄の文化』（第6号、山北町地方史研究会編・発行、昭和37年11月、昭和58

年12月再版）

「はじめに」西垣晴次
「村の概観」平山和彦
「村の社会生活」
1 村の出来事」平山和彦
2 村の構成」平山和彦
3 家と同族」平山和彦・飯塚三重子
4 若衆組」平山和彦・花島政三郎
5 人生儀礼
1 産育」倉野礼子
2 婚姻」倉野礼子

3 葬送」河上一雄

「村の経済生活

- 1 衣・食・住」河上一雄
- 2 生業関係」渡辺靖雄

「村の信仰生活

- ◎ 1 部落の氏神」宮田登・牛島巖
- ◎ 2 信仰的講集団」宮田登・花島政三郎
- ◎ 3 お峯入り」
- 4 年中行事」加賀ひろ子

「村の歴史（其の一）中丸和伯・福田アジオ

『足柄の文化』（第7号、山北町地方史研究会編・発行、昭和38年5月、昭和58年

12月再版)

「古墳からみた東国文化」尾崎喜佐雄
「相模山北における鎌倉時代の墳墓群」日野一郎
「高松寄地区踏査記録」露木貞夫
「山北町地方史研究会々員名簿」
「西丹沢のタニガシ」倉田悟
「ヤシャイノデ採集詳報」田代信二
「清水地区における植物目録」梅田五男吉
「湯触村鑑帳」上郡社会科同好会
「映画……郷土資料解説」神奈川県視聴覚課

『足柄の文化』（第8号、山北町地方史研究会編・発行、昭和45年3月、昭和58年

12月再版)

「巻頭の辞」津田吉秋
「西丹沢の集落とその社会構造」瀬戸貞夫
「大久保加賀守様御入部以来御条目」鈴木隆造
「鉄砲に関する資料」松川浩
「古人の芳灯」相原珠泉
「役員名簿」
「編集後記」

『足柄の文化』（第9号、山北町地方史研究会編・発行、昭和48年11月、昭和58

年12月再版)

「序」津田吉秋
関東大震災の思い出を語る（一）

「座談会出席者」

「1 はじめに」

「2 震災当時の様子」

「3 被害の状況」

「4 震災後の生活」

「5 復旧の苦心について」

「6 震災前と震災後の変化」

「7 地震の前兆について」

「8 避難の心得」

「9 地震対策ほか」

関東大震災の思い出を語る（二）

「座談会出席者」

「1 はじめに」

「2 震災当時の様子」

「3 被害の状況」

「5 震災後の復旧と生活」

「6 茶業の振興」

「7 前兆と避難について」

「北町地方史研究会々員名簿」

「あとがき」

『足柄の文化』（第10号、山北町地方史研究会編・発行、昭和51年3月）

「山北町の埋蔵文化財について」文学博士 赤星直忠

「西丹沢の集落とその社会構造（続）」瀬戸貞夫

「津久井郡郷土資料館の見学記」茂川正明

『足柄の文化 鉄道特集』（第11号、山北町地方史研究会編・発行、昭和51年11

月）

〔この第11号は原本購入済み〕

「1 山北駅は河川敷だった」

「2 湯山弥五右衛門のこと」

「3 開化の波は港から」

「4 汽笛一声新橋を」

「5 東海道か中山道か」

◎「6 天下の険は迂回する」

◎「7 東海道線全通」

◎「8 開業当時の時刻表から」

◎「9 山北駅は勾配線の基地」

- 「10 全通はしたけれど」
- 「11 複線化進む」
- 「12 今泉小源次さんのこと」
- 「13 サービス向上のはしり」
- 「14 中川の鮎ずし弁当」
- 「15 山北は雀まで黒い」
- 「16 ナンダ坂コンナ坂」
- 「17 鉄道員はあこがれの的」
- 「18 大震災の被害」
- 「19 運転事故あれこれ」
- 「20 お召列車まかり通る」
- 「21 山北は特急もとまる」
- 「22 山北は鉄道の町」
- ◎「23 恨めし「丹那」」
- ◎「24 汽笛もさびし新生「御殿場線」」
- 「25 戦中、戦後の変ぼう」
- 「26 「谷峨駅」誕生」
- 「27 ディーゼル化と「東山北駅」誕生」
- 「28 夢はいつ開く」
- 「29 蒸気機関車は消える」
- 「30 栄光の機関車を保存」
- 「山北駅歴代駅長」
- 「山北地方史研究会会員名簿」

『足柄の文化』（第12号、山北町地方史研究会編・発行、昭和55年6月）

- 「一、水没した集落と残った集落」 茂川正明
 - 「一、西丹沢の集落とその社会構造」 瀬戸貞夫
 - 「一、三保の民俗 箒沢部落を中心として」 松川浩・岩本忠明・佐藤徳
 - 「県重要文化財 世附百万遍念佛」 世附部落
 - 「一、尾崎縄文遺跡」 赤星直忠
 - 「一、相甲駿国境紛争と公裁」 石田昇
 - 「一、新編相模国風土記稿 神縄村、世附村、中川村、玄倉村」 稿本・松川家所蔵
 - 「一、年代古事記」 翻刻者・相原源治
- 共編 山北町文化財保護委員会・山北町地方史研究会

『足柄の文化』（第13号、山北町地方史研究会編・発行、昭和56年12月）

- 「一、二階堂家伝来旧記書」 般若院蔵
- 「一、山北の縄文文化」 赤星直忠
- 「一、江戸時代の山北の農民」 本田秀雄
- 「一、山北と皆瀬川」 鈴木隆造

- 「一、西丹沢の人たちの起源をたずねて」 簀田義文
- 「一、中川温泉由来記」 丹羽正夫
- 「一、山北の商店街」 酒匂三平
- ◎ 「一、湯山家五代の事蹟」 川密一壽
- ◎ 「一、室生神社の鎮座考」 瀬戸正二
- ◎ 「一、旧藩時代の農民生活」 石田昇
- 「一、奥山家道の石仏巡礼」 岩本正夫
- 「一、伊勢丹社長小菅丹治氏について」 鈴木隆造
- 「一、広蔵講念佛の由来」 杉山正治
- 「一、河村氏の史実について」 杉山正治
- 「一、川村のザル」 尾崎章
- 「一、川村郷」 石田昇
- 「一、般若院物語」 川密金子
- 「一、川村氏と流鏑馬」 杉山正治
- 「一、二世楠と本寿連縁起」 津田紫明
- 「一、西丹沢と吉野朝」 石田左近
- 「一、丹沢の生立ち」 松川浩
- ◎ 「一 共和酪農の今昔物語」 大野君麿
- ◎ 「一、高杉天神宮とお峯入り」 岩本正夫
- ◎ 「一、道祖神の話」 瀬戸茂
- 「一、西丹沢の金鉾」 池谷嘉徳
- 「一、みかんの起源」 高橋忠一
- 「一、清水地区の短歌」 山崎勝
- 「一、実相寺と鉄牛」 池谷嘉徳
- 「一、堀割古事記」 杉山正治
- 「一、山北におとづれた文人墨客」 石田昇
- 「一、丹沢の動物誌」 関口秀一
- 「一、文明堤の由来と田中丘隅」 滝沢惣平
- 「一、西丹沢の人たちの起源をたづねて」 簀田義文
- 「一、箒沢のハッ揃い」 佐藤伴次郎
- 「一、世附の百万遍念佛」 石田耕平
- 「一、足柄茶の由来」 細谷辰雄
- 「一、山北村の差出帳」 本田秀雄
- 「一、寛文時代の都夫良野村」 岩本宣夫
- 「一、旧藩時代の神縄村」 茂川正明
- 「一、河村城と南北朝時代」 川密一壽
- 「一、平山の浄光寺と大森氏」 茂川正明
- 「一、相模国世附村切支丹宗門改帳」 石田昇
- 「一、山北駅の今昔」 藤井良晃
- 「一、相模国河村山北村鏡帳」 瀬戸利恵子

- 「一、雁丸家に伝わる年代古事記」相原源治
 - 「一、寛文十二年平山村村鏡」石田昇
 - 「一、向原氏と鎌倉時代の墳墓群」茂川正明
 - 「一、石神さま」佐藤智昭
 - 「一、尊徳翁語録」石田昇
 - 「一、川西寺のお寺」加藤弘圓
 - 「一、消防ポンプ三代記」杉山実
 - 「一、滝の不動尊と巨石」内田健蔵
 - 「一、山北局交換特設電話記録」露木三郎
 - 「一、力石」瀬戸貞夫
 - 「一、三保ダムのあゆみ」佐藤亨二
- 共編 山北町文化財保護委員会・山北町地方史研究会

『足柄の文化』（第 14 号、山北町地方史研究会編・発行、昭和 58 年 8 月）

- 「一、川村の地場産業繁昌記」藤井良晃
 - 「1、川村の商家自傳
 - 體驗録」初代・和田■五郎 ■手偏に「総」の旁
 - 私の履歴書」二代目・尾崎友吉
 - 花菱」先代・露木勝兵衛
 - 傳述」先代・武井林花
 - 「一、二階堂家伝来旧記書」翻刻・相原源治
 - 「一、新役員、新加入会員の紹介」
 - 「編集後記」
- 共編 山北町文化財保護委員会・山北町地方史研究会

『足柄之文化』（第 15 号、山北町地方史研究会編・発行、昭和 60 年 8 月）

- 「一、田中丘隅伝」平田実
- 「一、川村山家之内都夫良野村史探稿」岩本南花
- 「一、越地周辺の自然と生活の動向」滝沢武雄
- ◎「一、三井寺と平山洒水不動尊常実坊について」清水正一

『足柄の文化』（第 16 号、山北町地方史研究会編・発行、昭和 61 年 11 月）

- 「一、序」教育長・杉本顕次
- ◎「一、山北町地区の庚申信仰盛衰史考」岩本南花
- 「一、昭和十二年七月の大水害録ー大きく変わった尺里の地形」内田健蔵
- 「一、野地仁遺作集ー総合演劇雑誌「テアトロ」より収集ー」
- 「一、古文書講座」町文化財保護委員長・相原珠泉監修
 - 解説者 荻野小梅・瀬戸不二男・佐藤智昭・武井昭子・清水正一・荻野トメ
- 「一、会員並に役員名簿」
- 「編集後記」

共編 山北町文化財保護委員会・山北町地方史研究会

『足柄の文化』（第 17 号、山北町地方史研究会編・発行、昭和 63 年 3 月）

- 「一、カラス山・堂山遺跡の発掘調査報告」安藤文一
「一、二・二六事件と山北出身者―機関銃下の官邸で首相救出―」牧田勇
◎「一、道しるべに昔を偲ぶ―尺里の里・山の観音様をたずねて―」内田幸三
「一、古文書講座」山北町文化財保護委員長 相原珠泉監修
 解説書写 清水正一・瀬戸不二夫・相原トキエ・武井昭子・荻野トメ・
 荻野小梅・山崎治子・井上良夫・池谷トヨミ・細谷忠雄・細谷妙美
「一、資料 天保九年 相模国西山家九ヶ村寄特人員数名前書上帳」
共編 山北町文化財保護委員会・山北町地方史研究会

『足柄之文化』（第 18 号、山北町地方史研究会編・発行、平成元年 2 月）

- 「一、小田原藩々政史料と誓詞詞文
 同史料、生類憐みの令（村の元禄時代抄史）」岩本南花
◎「玄倉史話」池谷嘉徳
「山北地方の狩猟の話」岩本博
「山北町山村地方の方言」口述・込山亮 聞取・石田昇 石田佐千雄
「山北町古文書講座」相原珠泉監修
共編 山北町文化財保護委員会・山北町地方史研究会

『足柄の文化』（第 19 号、カラス山・堂山遺跡 東海自動車道改築山北町内埋蔵文化

財発掘調査報告書、山北町地方史研究会編・発行、平成元年 10 月）

- 「序」
「例言」
「第 1 章 調査経緯」
 第 1 節 発掘調査に至るまでの経過
 第 2 節 発掘調査の経過 ……………
 1. カラス山遺跡 ……………
 2. 堂山遺跡 ……………
第 II 章 地理的・歴史的環境 ……………
第 III 章 遺跡概要 ……………
 第 1 節 ガラス山遺跡 ……………
 第 2 節 堂山遺跡 ……………
第 IV 章 遺構・遺物 ;……,…………
 第 1 節 カラス山遺跡
 1. 縄文時代
 2. 弥生時代
 第 2 節 堂山遺跡

1. 縄文時代
2. 弥生時代
3. 古 代
4. 中・近世

第 V 章 調査の成果と課題」

『足柄の文化』（第 20 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 3 年 2 月）

- 「序文」 石田教育長
- 「二〇号の発行に寄す」 石田昇
- 「岩崎先生のお作「灰」とのいささかのかかわりを」 湯山厚
- 「湯山おれん覚書」 岩崎京子
- 「大盗耳四郎のこと」 藪田義文
- 「丹沢山塊の主峰檜洞丸」 奥野幸道
- 「都夫良野の貝の化石」 鈴木満
- 「古文書講座」 相原珠泉監修
- 「会員、役員名簿」
- 「編集後記」

『足柄の文化』（第 21 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 4 年 7 月）

- 「序文」 教育長 石田公夫
- 「丹沢山塊の生立ちと山北町」 末包鉄郎
- 「皆瀬川村と川村、山北村に於ける皆瀬川入会安政度出入山論」 岩本南花
- 「年代古事記全」 鴈丸フミ子
- 「古文書講座」 監修 相原珠泉
 - 山崎家文書」 書写 清水正一・瀬戸不二雄
 - 井上家文書」 書写 荻野小梅・森田千代・武井昭子
- 「会員、役員名簿」
- 「あとがき」

『足柄の文化』（第 22 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 7 年 3 月）

- 「はじめに」 山北町教育委員会教育長 石田公夫
- 「発刊にあたって」 山北町地方史研究会会長 藤井良晃
- 「相模国大井庄西山家の物語」 石田昇
- 「丹沢の古道をたずねて」 奥野幸道
- 「山北町河村城関連遺跡の発掘調査について」 安藤文一
- ◎ 「足柄の富士講―足柄上郡山北町―」 小林謙光
- 「平山箱根山正覚院について」 清水正一
- 「山北町の慰霊碑等」 池谷嘉徳
- 「華蔵院石仏について―四八十八ヶ所―」 藤井良晃
- 「なつかしき思い出―わが山北町―」 鈴木比呂

「山北町中央公民館展示ホール 郷土の歴史展示紹介」 武井宏仁
「山北町地方史研究会会則」
「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿」
「編集後記」 編集委員長・和田正徳

『足柄の文化』（第 23 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 8 年 2 月）

「序文」 山北町教育委員会教育長 石田公夫 山北町地方史研究会会長 藤井良晃
「太平洋戦争と暮らし」 藤井良晃
「山北町戦中戦後年表（昭和十二年～）」
「戦中・戦後の山北町」 亀山義男
「谷ヶの送信所」 水野勝弘
「監視哨と私」 高橋隆
「青春の墓標・湖南の詩」 内田幸三
「戦時下山北での暮らし」 和田ヒロ子
「終戦 新生の秋」 尾崎友吉
戦争の思い出（川村小学校 P T A 母親文庫）
「あの日あの頃」 眞田敏子
「私の満州時代」 T・K
「シベリアの思い出」 星野隆一
「死を見つめて」 山田金吾
「終戦とその後」 藤井嘉乃子
成就院への学童疎開（杉の子文集）
「集団疎開の回想」 故金子利雄
「成就院での生活」 川田敦子
「二度とくり返したくない体験」 菊池明子
「マルロ勤労働員始末」 笹部一郎
「山北町長より連合会長への通達」
「山北町出身戦没者」
一．山北・岸・向原・平山（慰霊塔）
二．共和（慰霊塔）
三．清水（忠魂碑）
四．三保（殉国碑）
「山北町地方史研究会会員 役員・評議員名簿」
「編集後記」 編集委員長 和田正徳

『足柄の文化』（第 24 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 9 年 3 月）

「序」 山北町教育委員会教育長 石田公夫
「発刊にあたって」 山北町地方史研究会会長 藤井良晃
「每十八〔梅〕風記について」 藤井良晃
「三保村誌」 池谷嘉徳

「河村城跡茶臼郭周辺遺跡調査報告」安藤文一

「瀬戸家の家紋古文書等について」清水正一

◎「足柄の富士講（続）」小林謙光

「宏道流挿花と相雲齋梅山」府川宏

◎「山北の石造物」←（『山北の石造物』山北町文化財調査報告書、山北町文化財保護委員会編・発行、おそらく平成8年発行）の刷版に前文を加えて収録、コピーは『山北の石造物』ファイルに綴じてある。

「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」

「編集後記」編集委員長 和田正徳

『足柄の文化』（第25号、山北町地方史研究会編・発行、平成10年3月）

「発刊にあたって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃

「発刊によせて」山北町教育委員会教育長 山崎司

◎「平山不動尊常実坊」（『平山不動尊常実坊』山北町文化財調査報告書、山北町教育委員会編・発行、1997年3月）

「川口廣蔵と荻窪用水」池谷嘉徳

「平山の「とづらどおし」」清水正一

◎「足柄の富士講（その三）ー山北町ー」小林謙光

「箒沢の藤衣（フジゴロモ）」佐川和裕

「世附の百万遍念仏にみる地域性ー甲駿文化との関わりー」久保田裕道

「山北の石造物（二）」→（『山北の石造物（二）』山北町文化財保護委員会・山北町

地方史研究会編、山北町教育委員会発行、1998年1月）

「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」

「編集後記」編集委員長 和田正徳

『足柄之文化』（第26号、山北町地方史研究会編・発行、平成11年3月）

「発刊にあたって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃

◎「河村城を取り巻く山北の城砦ー新城跡の発掘調査と城砦群踏査を中心としてー」安藤文一

「旧三保村と浅野総一郎」藤井良晃

「田中丘隅と文命堤」池谷嘉徳

「あしがらミカンの近現代史ー生産減少に優良品種で対応ー」牧田勇

「北条早雲と備中から来た家臣」下山治久

「道祖神研究史素描ー神奈川県道祖神研究に向けてー」入江英弥

「瀬戸堰の開発をめぐって」内田清

「山北町地方史研究会会則」

「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」

「編集後記」編集委員長 和田正徳

『足柄之文化』（第 27 号、・山北町地方史研究会編・発行、平成 12 年 3 月）

- 「発刊にあたって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃
「神奈川県山北町南原古墳群 試掘調査報告」安藤文一
「河村氏物語」工藤隼人
「荒河保における河村氏の活躍」高橋重右エ門
「相模河村氏と河村郷－戦国時代を中心として－」湯山学
「追記」池谷嘉徳
「陸奥川村氏を訪ねて」清水正一
「三保ダムとともに」佐藤亨二
「山北町の道祖神祭り－神奈川県足柄上郡山北町の道祖神祭祀の実態－」入江英弥
「「山会合」関係資料について」加藤隆志
「植物利用の民俗」浜野達也
「山北町地方史研究会会則」
「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」
「編集後記」編集委員長 瀬戸榮二
題字・瀬戸万壽美 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第 28 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 13 年 3 月）

- 「発刊にあたって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃
「般若院「川村氏墓碑銘」考」久保田昌希
「室町幕府と河村氏（上）」湯山学
「「山北の歴史」」本多秀雄
「山北の唯念名号塔をめぐって」小澤勇一
「西丹沢拾い話」小木満
「山北町の道祖神祭り－神奈川県足柄上郡山北町の道祖神祭祀の実態（2）－」入江英弥
「昭和五十三年山市場・湯本平・平山・神縄地区」民族調査報告について」加藤隆志
「箒沢における作物禁忌」美甘由紀子
「山北町地方史研究会会則」
「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」
「編集後記」編集委員長 瀬戸榮二
題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第 29 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 14 年 3 月）

- 「発刊にあたって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃
「宝永富士噴火以降の災害・飢饉と人々の暮らし」岩崎孝和
「室町幕府と河村氏（中）」湯山学
◎「旧皆瀬川村の民俗とお峯入り」久保田裕道
「守札にみる家の信仰」大野一郎

「山北町の道祖神祭りー神奈川県足柄上郡山北町の道祖神祭祀の実態（3）ー」入江英弥

「山北町史民俗編発刊記念シンポジウムの概要」山北町史編さん事務局→（『山北町史別編 民俗編』山北町編・発行、平成13年）

「山北町地方史研究会会則」

「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」

「編集後記」編集委員長 瀬戸榮二

題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第30号、山北町地方史研究会編・発行、平成15年3月）

「第三十号の発刊を祝して」山北町長 佐藤精一郎

「第三十号の発刊によせて」山北町教育委員会教育長 山崎司

「山北町地方史研究会と「足柄乃文化」の歩み」山北町地方史研究会会長 藤井良晃

「山北町の仏像調査報告書」薄井和男

「般若院『川村氏墓碑銘』考」補遺」久保田昌希

「八幡神社と祭礼の今昔」石田公夫

「太神社（秋葉神社）の変遷」渡辺文雄

「山北町の道祖神祭りー神奈川県足柄上郡山北町の道祖神祭祀の実態（4）ー」入江英弥

「福沢諭吉と足柄」本多秀雄

◎「谷峨駅設置についてー祖父の日記からー」武井宏仁

「山北の石造物（三）」山北町文化財保護委員会

「山北町地方史研究会会則」

「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」

「編集後記」編集委員長 瀬戸榮二

題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第31号、山北町地方史研究会編・発行、平成16年3月）

「発刊にあたって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃

「山北町文化財調査報告 山北町指定重要文化財 箱根権現縁起絵巻（抄録）」古川元也

「山北を中心とした足柄地方の『地名』について 山北町地方史研究会平成十四年度文化講演会要旨」田代道彌

「河村城跡史跡整備に伴う平成十五年度試掘調査略報～特に郭部（平場）を中心とした成果について～」安藤文一

「室町幕府と河村氏（下）」湯山学

「山北町民俗芸能調査報告①「道ゆきの祭り囃子」～山北町谷ヶ地区白旗神社祭り囃子～」久保田裕道

「道祖神祭りの山車巡行ー神奈川県足柄上郡山北町山北の山車祭り調査報告ー」入江英弥

「山北地方の方言」藤井良晃

「戦国期相模河村郷中川と甲斐大窪村」久保田昌希
「地蔵尊「一木三体」考」池谷嘉徳
「古文書講座1 川口広蔵の売地と貸金の証文」内田清
「山北町地方史研究会会則」
「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」
「編集後記」編集委員長 茂木哲夫
題字・頼戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第32号、山北町地方史研究会編・発行、平成17年3月）

「発刊にあたって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃
「山北町文化財調査報告 般若院伝来の烏帽子形兜について」鳥居和郎
「山北町民俗芸能調査報告②「山北地区の川村囃子」～室生神社例大祭と花車巡行～」
久保田裕道
「平成十六年度河村城跡発掘調査の概要について」山北町教育委員会
「山北の酒造業」田中勉
「世附村の古文書」渡辺文雄
「人遠の薬師堂」瀬戸榮二
「岸地区の道祖神について」石田公夫
「古文書講座2「婚姻にともなう証文」」内田清
「山北町地方史研究会会則」
「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」
「編集後記」編集委員長 茂木哲夫
題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第33号、山北町地方史研究会編・発行、平成18年3月）

「発刊にあたって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃
「山北に爪痕を残す自然の猛威—山北町地方史研究会平成十六年度文化講演会—」町田洋
「山北町民俗芸能調査報告③「岸地区の川村囃子」～八幡神社例大祭と花車巡行～」久保田裕道
「平成十七年度河村城跡詳細調査の概要」山北町教育委員会
「相州河村氏と河村瑞賢」池谷嘉徳
「山北と露谷虹児」藤井良晃
「石仏小考」瀬戸榮二
「昭和二十年の東京・平塚・山北での日々」関根夫佐子
「私が体験した山北の空襲」安部雅勇
「あの頃のこと」磯崎衣代
「御殿場線の廃止トンネルにできた送信所」話し手・細谷覚
「聞き書き・赤田重砲兵陣地の記憶」遠藤孝徳
「動員寸描 八王子学徒動員記（昭和二十年）—相模海軍工廠—」川田定雄

「山北町地方史研究会会則」

「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」

「編集後記」編集委員長 茂木哲夫

題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第 34 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 19 年 3 月）

「発刊に当たって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃

「山北町史の一〇年を振り返って—山北町地方史研究会平成十七年度文化講演会要旨—」
金原左門

「武尾弥十郎の生活記録—「当用雑記」にみる明治二十年代の谷ヶ村」星野和子

「秀學による六字名号碑の造立と安政五年のコレラ調伏について」津田守一

「青春とロマンの自主上映会—山北映画鑑賞会の歩み」瀬戸照美

「山北町文化財調査報告 山北町梵天山遺跡（梵天塚）出土の和鏡について」加島勝

「山北町民俗芸能調査報告④「向原の川村囃子及び山北町の祭り囃子の伝承について」」

久保田裕道

「念仏の里をあとに」渡辺文雄

「蓑笠之助と酒匂川治水」池谷嘉徳

「休岩寺と湯坂公民館」相原伊勢雄

「傘寿を迎えた会員の来し方—激動八十年の時代考察—」牧田勇

「山北小史 足柄峠から蝦夷の国をのぞむ」茂木哲夫

「古文書講座 3 山北の村筒（村足軽）文書を読む」内田清

「山北の石造物（四）」山北町文化財保護委員会

「山北町地方史研究会会則」

「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」

「編集後記」編集委員長 茂木哲夫

題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第 35 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 20 年 3 月）

「発刊に当たって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃

「戦国大名後北条氏と丹沢山塊」久保田昌希

「山北中学校校地造成時における石造物並陶磁器等の出土について」本多秀雄

「相模山北における鎌倉時代の墳墓群」（『足柄乃文化』第七号から転載）日野一郎

「山市場地藏堂の行幹銘の六字名号塔と安政五年のコレラ流行の関連について」津田守

—

「成就院の石造地藏菩薩について」瀬戸榮二

「川村小学校誌」石田公夫

「三保史話」池谷嘉徳

「山北町と国鉄開業—三五年—鉄道文化変容の史的考察—」牧田勇

「山北小史（二）河村一族、鎌倉・京都で戦う—和田義盛の乱・承久の乱—」茂木哲夫

「『皇国地誌』川村岸・川村山北・川村向原「村誌」の意義」茂木哲夫

「皇国地誌（村誌）川村岸」「皇国地誌（村誌）川村山北」「皇国地誌（村誌）川村向原」

「山北町地方史研究会会則」

「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」

「編集後記」編集委員長 茂木哲夫

題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第 36 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 21 年 3 月）

「発刊に当たって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃

「口絵 瀬戸水明画伯作品集」

「郷土出身の画家瀬戸水明さんの生涯」水野勝弘

「伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝」（土屋喬雄著『二代小菅丹治伝上・下』から転載）

「上京する地方武士－相模河村氏の場合－山北町地方史研究会平成十九年度文化講演会要旨－」石丸熙

「新たに見つかった般若院所蔵の川村家文書について－幕府旗本から徳川家家扶を勤めた川村氏の日記」岩崎孝和

「山北の木食観正碑よりの考察－観正による酒匂川の川鎮めの加持祈祷について－」津田守一

「川村岸史話」池谷嘉徳

「河村城に籠城した七人の武将は何処から来て、何処に去ったか－『太平記』に河村城籠城を読む－」茂木哲夫

「古文書講座 4 山北の免状・褒賞状を読む」内田清

「『横浜貿易新報』に見る東海道線山北駅の繁栄 明治 33 年から明治 43 年まで」『足柄乃文化』編集委員会

「山北町地方史研究会会則・細則」

「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議員名簿」

「編集後記」編集委員長 茂木哲夫

題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第 37 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 22 年 3 月）

「発刊に当たって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃

「口絵 瀬戸水明氏作品集Ⅱ」

「瀬戸水明氏遺稿（俳句・短歌）集－恩師安田鞞彦先生と瀬戸水明氏－」

◎「山北の民俗－その特色をさぐる－」小川直之

「棋士吉田一步と山北町洒水の滝－十三世名人関根金次郎の盟友として－」北野浩之

「山北町山市場地蔵堂の行幹による六字名号軸と小田原市長善寺と宮窪観音堂の秀學の六字名号軸について」津田守一

「第一海軍技術廠噴進部山北試験場とその周辺」大倉潤

「伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝」（土屋喬雄著『二代 小菅丹治伝』より転載）

「般若院所蔵川村家文書「藤原姓 川村家譜」を読む」岩崎孝和

「河村氏史話」池谷嘉徳
「後北条期の河村郷の人びと」茂木哲夫
「山北町地方史研究会会則・細則」
「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議委員名簿」
「編集後記」編集委員長 茂木哲夫
題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第 38 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 23 年 3 月）

「発刊に当たって」山北町地方史研究会会長 藤井良晃
「口絵 河村城を語る写真図版・瀬戸水明氏作品集Ⅲ・山北の吊橋三景（昭和初期）」
「平成二十一年度文化講演会『座談会 河村城を語る』」荻谷俊介・安藤文一・後藤喜
八郎・砂田佳弘・加藤拓也
「瀬戸水明氏遺稿（俳句）集二 『作句手帳』より」瀬戸泰子
「足柄茶との出会い」水野勝弘
「荻窪と荻窪用水」石井敬士
「山北町を中心とした地域の信州高遠石工の活動についての考察」津田守一
「富士宝永噴火と皆瀬川堀割」茂木哲夫
「源朝長が幼年期を過ごした「松田亭」の所在地に関する一私見」島村俊介
「文久期の幕府旗本川村一匡と講武所について」岩崎孝和
「松田氏史話」池谷嘉徳
「伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝 三」土屋喬雄
「『横浜貿易新報』に見る西丹沢（明治・大正編）明治四十二年～大正十三年」編集委
員会
「山北町地方史研究会会則・細則」
「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議委員名簿」
「編集後記」編集委員長 茂木哲夫
題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第 39 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 24 年 3 月）

「発刊に当たって」山北町地方史研究会会長 茂木哲夫
「口絵「湖底に沈んだ三保のふるさと」野地梯子
「福澤諭吉は山北（神縄村）を訪れたことがあったかどうかー山北町地方史研究会 平
成 22 年度文化講演会要旨ー」金原左門
「再録 関東大震災の思い出を語る」編集委員会
「皆瀬川村出身の巨人力士武蔵湯伊之助」小松修
「松田ゆかりの源朝長（松田冠者）の生涯」島村俊介
「奥野幸道さんと祖父佐藤浅次郎、そして箒杉」佐藤昌司
「山北町谷ヶ字大河原の砥石採掘の歴史的考察」津田守一
「川村権七の足跡をたどる」茂木哲夫
「山北町議会 昭和の歩み」池谷嘉徳

「伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝 四」土屋喬雄
「やまきたの棟札 岸の山神社」編集委員会
「山北町地方史研究会会則・細則」
「山北町地方史研究会会員名簿・役員名簿・評議委員名簿」
「執筆者一覧・編集後記」茂木哲夫
題字・瀬戸万壽夫 表紙・斎藤正夫

『足柄之文化』（第40号、山北町地方史研究会編・発行、平成25年3月）

「口絵 開かれたタイムカプセル『箱根権現縁起絵巻』の世界
◎「『箱根権現縁起絵巻』に見る箱根修験の文化創造」阿部美香
「文命堤と文命宮」瀬戸良雄
「足柄上郡地域の日本産狼の歴史学的考察」津田守一
「室生明神と大室権現」茂木哲夫
「今、満州開拓団を考えるー神奈川「満州」開拓団（大楡樹神奈川開拓団）聞き書きー」
森敏一
「関東大震災の見聞録ー松の木は残ったー」藪田拓司
「写真と碑文から見る山北の近代 1 岩流瀬堰の「震災復旧記念碑」 2 日向用水と「震災記念碑」 3 池田鶴吉氏の村葬」編集委員会
「河村城論争の頃の共和村」岩本宣夫
「河村城址の考究」石野瑛
「伊勢丹創業者 二代目小菅丹治伝 五」土屋喬雄

『足柄之文化』（第41号、山北町地方史研究会編・発行、平成26年3月）

「口絵 丹沢で発見されたオウムガイ・サンゴ礁の化石群」門田真人
「宝永の富士山噴火と幕府の復旧対策ー代官伊奈半左衛門の施策を中心にー」松尾美恵子
「山北を訪れた文人たち」石井敬士
「山北町向原金躰寺、寺伝の研究ー祐天筆六字名号塔を中心としてー」津田守一
「福沢諭吉と山北の鮎鮪」加藤繁男
「酒匂川流域における災害履歴と災害文化の継承ー南足柄市班目地区を中心にー」黒柳実里
◎「山北町の梵天山（湯殿山）信仰をさぐる」茂木哲夫
「清水「満州」開拓団（大青頂清水開拓団）」森敏一
「写真と碑文から見る山北 1 円通寺の鉄道工事吊魂碑 2 生まれ変わった樋口橋 3 ビリ堂の石造物「山の観音様」 4 河村弥二郎寄進の鰐口」編集委員会
「川村家文書「大概順」を読む」川村家文書を読む会
「40年前の丹沢を語る（「山と溪谷」昭和26年春号より）」武田久吉

『足柄之文化』（第42号、山北町地方史研究会編・発行、平成27年3月）

「口絵 東海道鉄道（山北・小山間）災害復旧工事写真帖ー明治40年8月 箱根大水害

・大正 12 年 9 月 関東大震災一」

「神奈川県足柄上地方の自由民権運動史料―山北町谷ヶ武尾家文書を中心にして―」石倉光男

「近現代における山北をめぐる文学者たち―明治を中心に―」石井敬士

「「神奈川県報国農場」聞き取りと手記」森敏一

「昭和 47 年豪雨災害とその教訓」（神静民報・岳陽新聞・『美しき三保への試練』・向原地区防災訓練から転載）

「古義真言宗寺院と高野山高室院の関係について―後北条・江戸時代の足柄上郡を中心にして―」津田守一

「南北朝から永享の乱までの河村城と河村氏―河村城で討死した高麗左衛門介高広―」茂木哲夫

「写真と碑文から見る山北 1 町内に所在する五輪塔・宝篋印塔 2 共和道の二つの馬頭観音像 3 瀬戸平山の明治 31 年鉄道工事慰霊碑 4 共和地区人遠庭「八十末社」の棟札 5 谷ヶ共有林の二つの石碑」編集委員会

「戦争に駆り出された馬たち」岩本宣夫

「慶応元年七月の藩主名簿を読む―『殿中御沙汰並書付留』―」川村家文書を読む会

「東海道鉄道建設の頃―下田助次郎・今泉小源治の業績を中心にして―」（『日本鉄道請負業史 明治編』から抜粋転載）

『足柄之文化』（第 43 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 28 年 3 月）

「口絵 酒匂川に棲み続けてきた動物たち」山崎泰

「戦国時代の河村城とその周辺」小和田哲男

◎「忘れられた民間信仰 富士山・修験者・木食たち―小田原藩領の世界から―」西海賢二

「川村岸囃子と花車運行の今昔」石田公夫

「福沢諭吉と交流のあった安藤正胤の一考察―神縄、山崎家に逗留した明治・大正期の医者―」石井敬士

「山北町の交通・交流史 I. 江戸時代、川村岸は物流の拠点だった II. 東海道鉄道、山北・御殿場ルートの開拓者 原口要の業績 III. 鉄道連隊の運転実習線となった御殿場線 IV. 岸、中河原開拓の頃」編集委員会

「相模足柄上郡の道祖神と小正月の行事 三保村・清水村・共和村」武田久吉・北村公佐（昭和 12 年刊『民族学研究』より転載）

昭和 12 年刊『民族学研究』より転載

「江戸時代の六法全書「公事方御定書」上巻の初編本か 瀬戸新平氏所蔵『秘要録』乾の冊を読む」茂木哲夫

『足柄之文化』（第 44 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 29 年 3 月）

「口絵 蒸気機関車 D5270」

「室生神社の流鏝馬にみる日本の馬文化」三橋國嶺

「山北中学校遺跡出土の武蔵型板碑について」鳥居和郎

「戦時中、三保にも報国寮があった」石井敬士

「清水の学童疎開報告 各戸疎開した西潮田国民学校Ⅰ」イリスの会

「蒸気機関車の話」瀬戸正二

「山北町の交通・交流史」編集委員会

Ⅰ. 生まれ変わった戦時機関車 D52 形

Ⅱ. 昭和 9 年、丹那トンネル開通前後の山北町

『山北機関庫 年間無事故完成記念』写真帳

川村尋常高等小学校『学校報』第 3 号

Ⅲ. 共和酪農創設の頃を語る 杉本好永 大野君麿

Ⅳ. 河村氏・河村城を論じた新刊書紹介

高橋秀樹著『三浦一族の研究 相模武士河村氏と三浦氏』

黒田基樹・朝倉直美編『北条氏康の子供たち 北条氏忠』

Ⅴ. 岸の八幡神社「正八幡宮縁起」は語る

「相模足柄上郡の道祖神と小正月の行事 山北町（岸・山北・向原）武田久吉・北村公佐
（昭和 12 年刊『民族学研究』より転載）

「「公事方御定書」下巻（御定書百箇条）の初編本か 瀬戸新平氏所蔵『秘要録 坤』
を読む」茂木哲夫

『足柄之文化』（第 45 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 30 年 3 月）

「口絵 丹澤世伝御料地とその休泊所」内山豊

「平成 28 年度文化講演会要旨 丹澤世伝御料地とその休泊所について」内山豊

「『丹澤恩賜県有林巡視日記』について」（『佐藤浅次郎日記』『横浜貿易新報』から）
編集委員会

「清水の学童疎開報告 各戸疎開した西潮田国民学校Ⅱ－清水での生活－」イリスの会
「本拠地平塚からの山北町疎開を中心に」（和田良助著『海軍火薬廠会計部』より抜粋
転載）

「平山不動尊常実坊と東京の劔榮講・和合講－町田久成、桜井敬徳の足跡をたどる－」
茂木哲夫

「山北町の交通・交流史 東海道線

Ⅰ. 栄華を誇った鉄道の町と機関士だった父」高瀬孝夫

Ⅱ. 鉄道技師原口要の足跡をさぐる」星野和子

Ⅲ. 平山瀬戸の永安橋が交通の要衝だった頃」編集委員会

Ⅳ. 帰って来た D52 型蒸気機関車」（岳陽新聞）

日本山岳修験学会第 38 回山北・丹沢学術大会記念寄稿集

◎「口絵 お峯入り」山崎泰

◎「山岳信仰と修験道」鈴木正崇

◎「山北のお峯入りについて」久保田裕道

◎「山伏の開踏と山の信仰」千葉政晴（岳陽新聞）

『足柄之文化』（第 46 号、山北町地方史研究会編・発行、平成 31 年 3 月）

「口絵 山北町に残る近代産業遺産」編集委員会

「山北町の近代産業史Ⅰ 江戸川工業所から三菱ガス化学への歩みー過酸化水素製造を中心にしてー」編集委員会

「東大演習林シンポジウム「気持ちよく納められる森林環境税とは」主催 東京大学大学院 農学生命科学研究科 附属演習林企画部」坂井マスミ・池谷和美・杉本一

「清水の学童疎開報告 各戸疎開した西潮田国民学校Ⅲー清水での生活Ⅱー」イリスの会

「明治・大正・昭和と歩んだ山北の鉄道員ー「瀬戸久満次略歴」からー」瀬戸正伊

「相模松田氏の興亡ー小田原北条五代との関わりー」平賀康雄

「宝永噴火・火山灰の天地返し遺構の報告」津田守一

「沼館愛三著「河村城址に対する所見」とその関連資料 河村城趾見取図・史跡指定願書類・交渉経過記録・踏査記念写真」編集委員会

「第二海軍火薬廠の山北町疎開関係資料 『海軍火薬廠追想録』附属資料・山北疎開地下倉庫図」編集委員会

「山北町の近代産業史Ⅱ 北海電化工業から富士瓦斯紡績第六工場へー山北町パークゴルフ場には何があったか」茂木哲夫

『足柄之文化』（第47号、山北町地方史研究会編・発行、令和2年3月）

「口絵 平山簡易水道給水記念・高松山山麓石仏・山北町の鉄道遺」

「平成30年度文化講演会要旨 山北町の鉄道遺産 御殿場線のトンネル群の沿革について」小野田滋

「山の観音様ー山北町尺里 高松山山麓の石仏ー」杉山徳光

「平山のご詠歌と観世音の石仏」小瀬雪子

「身近な里山にあった石碑」瀬戸恒彦

「平山簡易水道80年の歴史に幕を降ろす 平成16年」平山自治会

「西丹沢の記録

I 山奥のスト、営林署大又澤軌道人夫ら 昭和26年『岳陽新聞』

II 信玄の丹沢金山をたずねて 昭和33年『足柄乃文化』第2号

III 三保にウランでるか 昭和33年・36年『岳陽新聞』」

「生活・信仰の記録

I 「伊勢参宮はなむけ受領覚帳」鍛冶屋敷 正徳3年

II 小菅集治監製の煉瓦

III 琴浦紡績二見工場の紡績糸巻

IV 『御詠歌』新柴村円通寺」

「『大岡越前守忠相日記』に見る山北町域一代官蓑笠之助の足跡と公事方御定書初編本「秘要録」ー」茂木哲夫

『足柄之文化』（第48号、山北町地方史研究会編・発行、令和3年3月）

「口絵 河村新城跡発掘調査」

「『露地山水之傳授』の発見によせて」名城大学工学部准教授 三浦彩子

「『露地山水之傳授』伝来のいきさつ」茂木哲夫

「『露地山水之傳授』読み下し文」

「求道院と奥の院、そして妙法滝」瀬戸恒彦

「山北町の近代産業史」山北町地方史研究会編集委員会

「〔上敷免製〕刻印煉瓦と渋沢栄一」

「『大正9年版工場通覧』に見る山北工場」

「『御詠歌』の一番円通寺（小山町）について」

「丹沢山地での治山治水事業 広報『関東の森林から』」

「『岳陽新聞』に見る戦後山北町の衛生史－伝染病・保健所・医院・町営水道を中心に
して－」『岳陽新聞』より転載

「関東大震災と川村役場・消防団・青年団・軍人分会の活動」『川村震災記念誌』より
転載

「文部省に提出された二つの河村城址史蹟指定願－南北朝時代の河村城址所在地をめぐ
って－」山北町地方史研究会編集委員会

「小曲輪・新城の命名は北条氏政か－1570年から1590年までの20年間の河村城－」茂
木哲夫

『足柄之文化』（第49号、山北町地方史研究会編・発行、令和4年3月）

「口絵 今泉小源治とその鉄道遺産」

「鉄道請負業の先駆者初代今泉小源治の業績－杉井組から東海工業への歩み－」茂木哲
夫

「泗水の滝と文覚上人」森省三

「妙法山と妙法の滝」『妙法山記』より抜粋転載

「文部省に提出された山北町河村城址史蹟指定願（二）－南北朝時代の河村城址所在地
をめぐって－」山北町地方史研究会編集委員会

「昭和30年代の山北町工場誘致の歩み－丸正林製糸工場から丹南工業・山北編織へ－「岳
陽新聞」より転載

「横須賀（武山）第二海兵団練習兵との日々－瀬戸喜代志『昭和18年・19年教育記録』
より－」矢島そのみ

「幕末期旗本川村氏の知行地支配－般若院文書『嘉永4年 知行所諸用留』より－小暮正
利

『足柄之文化』（第50号記念号、山北町地方史研究会編・発行、令和5年3月）

「口絵 常実坊の春日舍利厨子と不動明王立像」金沢文庫主任学芸員 瀬谷貴之

「園城寺（三井寺）と平山泗水の滝不動尊常実坊について」清水正一

「吾妻鏡と園城寺（三井寺）そして文覚・運慶」編集委員会

「神奈川県山北町向原伝来の番匠巻物について」金沢文庫学芸員 貫井裕恵

「滝不動之縁起 向原尺里・滝不動尊講」内田健蔵

「石坂山の観音様 江戸時代のメッセンジャー」松澤大輔

「江戸衆川村跡と中峠城（我孫子市）城主河村氏四代について」茂木哲夫

「横須賀第二（武山）海兵団、練習兵との日々（二）－瀬戸喜代志『昭和20年教育日誌
第三期練習兵（後期）』より－」鴨下ひろみ

「付録. 『足柄乃文化』第31号から第50号までの目次総覧」

『足柄之文化』（第51号、山北町地方史研究会編・発行、令和6年3月）

「口絵 昭和43年 共和のお峯入り 1968年（昭和43）10月16日」撮影・辻満芳雄

「小田原北条氏の境目の城「河村新城」－公益財団法人かながわ考古学財団設立30周年
記念シンポジウム事例発表より－」相良英樹

「『横浜貿易新報』『岳陽新聞』に見る「お峰入り」－昭和9年から昭和48年まで－」
編集委員会

「神明社創建300年と祭礼起源考－宝永6年(1709)、藤堂藩の堀割普請で伝承か－」茂
木哲夫

「在りし日の世附を訪ねて

「ふるさとのみち」世附編（神奈川新聞社『丹沢湖』）

付『西丹沢の小ばなし』（鈴木治平著）」編集委員会

「世附百万遍念仏の源流を求めて－里山伏役の唱文（折本）を読む－」茂木哲夫

「三井寺（園城寺）と修験道、そして常実坊の由緒」常実坊副住職 役光明

「『大震災記』－関東大震災1カ月後の記録より－」大日本雄弁会大正12年発行より抜
粋

「横須賀海兵団練習兵（三）、そして戦後の生活－瀬戸喜代志『昭和20年教育記録』よ
り－鍋倉かつみ